

令和元年度 第 2 回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨

日 時	令和元年 8 月 2 日 (金) 14:05～16:31	
場 所	琉球大学医学部 管理棟 3 階 大会議室	
構 成 員	36 名 (欠席者 8 名)	
1 号委員	(琉大病院長)	大屋 祐輔
2 号委員	(県立中部病院長) (那覇市立病院長)	本竹 秀光 (代理) 朝倉義崇 屋良 朝雄
3 号委員	(県立八重山病院長) (北部地区医師会病院長)	篠崎 裕子 諸喜田 林
4 号委員	(沖縄県医師会長)	安里 哲好 (欠席)
5 号委員	(沖縄県歯科医師会長)	真境名 勉 (欠席)
6 号委員	(沖縄県薬剤師会長)	亀谷 浩昌 (欠席)
7 号委員	(沖縄県看護協会会長)	仲座 明美 (欠席)
8 号委員	(沖縄県政策参与)	対象者なし (構成員外)
9 号委員	(沖縄県保健医療部長)	砂川 靖 (代理) 糸数 公
10 号委員	(琉大がんセンター長)	増田 昌人
11 号委員	(琉大医療福祉支援センター長)	平田 哲生 (欠席)
12 号委員	(琉大薬剤部長)	中村 克徳 (代理) 与那覇房子
13 号委員	(琉大看護部長)	大嶺 千代美
14 号委員	(琉大事務部長)	鬼村 博幸
15 号委員	(県立中部病院副病院長) (県立中部病院血液腫瘍内科部長) (那覇市立病院外科統括科部長) (那覇市立病院外科部長)	玉城 和光 (代理) 吉田 幸生 朝倉 義崇 (欠席) 宮里 浩 友利 寛文
16 号委員	(県立八重山病院外科部長) (県立八重山病院副院長) (北部地区医師会病院副院長) (北部地区医師会病院看護部長)	尾崎 信弘 平良 美江 柴山 順子 我如古 春美
17 号委員	(沖縄県がん患者会連合会事務局長) (がんの子供を守る会沖縄支部代表幹事) (公益社団法人日本オストミ協会沖縄支部長) (ゆうかぎの会(離島圏におけるがん患者支援を考える会)会長)	安里 香代子 片倉 政人 大城 松健 真栄里 隆代
18 号委員	(国際医療福祉大学大学院教授) (一般社団法人グループ・ネクサス理事長) (沖縄タイムス編集局社会部記者)	埴岡 健一 (欠席) 天野 慎介 新垣 綾子
19 号委員	(県立宮古病院長) (県立宮古病院外科部長) (県立宮古病院副院長) (琉大病院病理部長) (琉大病院小児科講師) (那覇市立病院放射線科部長)	本永 英治 (欠席) 松村 敏信 中山 幸子 吉見 直己 百名 伸之 足立 源樹
部会報告者	緩和ケア・在宅医療部会 小児・AYA部会 離島・へき地部会 情報提供・相談支援部門	笹良 剛史 百名 伸之 松村 敏信 仲宗根 恵美
陪 席 者	琉球大学医学部附属病院地域医療部特命准教授 沖縄県保健医療部健康長寿課 沖縄県教育庁保健体育課長 沖縄県教育庁保健体育課健康体育班長 沖縄県教育庁保健体育課健康体育班	中島 信久 仲里 可奈理 太田 守克 上地 勇人 大城 まち子

議事要旨・議事録・委員一覧

1. 令和元年度第2回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(7月18日開催)

増田委員(10号委員)から、資料1の第2回幹事会議事要旨(令和元年7月18日開催)の確認があった。

2. 令和元年度第1回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(5月13日開催)

増田委員から、資料2の第1回協議会議事要旨(令和元年5月13日開催)の確認があった。

3. 令和元年度1回沖縄県がん診療連携協議会議事録(5月13日開催)

増田委員から、資料3の第1回協議会議事録(令和元年5月13日開催)の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

4. 協議会・幹事会委員一覧

増田委員から、資料4に基づき委員の変更について報告があった。また、大屋議長から協議会委員の11号委員である医療福祉支援センター長について、幹事会において委員から削除することを審議し承認されたが、琉大病院内で再考した結果、削除せず前年通り委員とすることについて提案があり、審議の結果、承認された。

有識者報告事項

1. 天野委員報告

天野委員(18号委員)から資料6に基づき、遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく複数の分子標的治療に関する患者申出療養についての情報提供等報告があった。

審議事項

1. 協議会要項の改正について

増田委員から資料7に基づき、協議会要項の改正について、議事要旨・委員一覧(資料4)での大屋議長の発言を受け、本審議を取り下げる旨の発言があった。

2. 沖縄県におけるいわゆる「がんゲノム医療」について

増田委員から資料8に基づき、沖縄県におけるいわゆる「がんゲノム医療」について説明があった。天野委員から、拠点病院となった場合はエキスパートパネルの実施等院内の負担も増すことが想定されるが、県内の本治療を希望する患者が他県へ移動しなくとも治療を受けられるメリットがあるため、申請へ努力して欲しいとの発言があった。審議の結果、異議なく承認された。

また、吉見委員(19号委員)から、がんゲノム医療が開始されたことで、制度や取り決めが未整備のため、例えば病理部では標本を中核拠点病院へ無償提供をすることになる等医療現場で諸処トラブルが発生しているとの報告があった。

3. 「第3次沖縄県がん対策推進計画」の進捗状況について

増田委員から資料9に基づき、「第3次沖縄県がん対策推進計画」の進捗状況について説明があった。また、増田委員から、本計画の中間評価が3年に1度と直近の評価とならないため、本計画の上位計画である沖縄県第7次医療計画に合わせ毎年評価を検討できないかとの発言があり、沖縄県医療保健部糸数氏(砂川9号委員代理)から、医療計画中のがん関連個所については年1回の評価を実施していることから、それら資料をがん対策推進計画の中間評価にも活用していきたいとの回答があった。このことについて天野委員から、他県と比較した場合やがんゲノムの急速な進展等を鑑みると、年度ごとの進捗管理が望ましいのではないかとの発言があった。

4. 沖縄県における「がん教育」について

大屋議長からの紹介を受け、オブザーバー参加の沖縄県教育庁保健体育課長の太田氏から資料 10 に基づき、沖縄県における「がん教育」について説明があった。審議の結果、異議なく承認された。

【主な質疑応答】

(質問者:天野委員)(回答者:沖縄県教育庁太田氏)

①外部講師の育成は検討しているか?

⇒今年度は教員を対象に年3回の研修予定がある。外部講師に特化した研修は次年度以降検討したい。

②外部講師をリスト化する等検討しているか?

⇒現在、リスト化は未検討である。

(質問者:増田委員)(回答者:沖縄県教育庁太田氏)

③小中高で内容は異なるか?

⇒発達段階に合わせた教育を実践する予定である。

④公立学校が対象となっているが、私立学校への対応はどうか?

⇒(回答者の太田氏が)私立学校の担当外なので回答できないが、連携を取りながら進めていきたいと考えている

⑤人口密集地域と過疎地域とで対応を異なる予定があるか?

⇒現在は予定していない。

【情報提供】(吉見委員)

札幌がんセンターでがん予防教育の教材を開発しているので、沖縄県の教材開発に参考になるのではないかと。

5. 令和元年度の協議会・幹事会の開催日時について

増田委員から資料 11 に基づき、令和元年度の協議会・幹事会の開催日時について説明があった。また、会議開催定足数に満たない可能性が生じた場合は日程を再調整するとの発言があり、日程について異議なく承認された。

報告事項

1. 患者会等よりの報告

安里香代子委員(17号委員)から当日配布資料に基づき、令和元年8月17日に開催する第7回離島がんフォーラムIN宮古島の開催について案内があった。また、資料12に基づき、琉球大学教職大学院での特別授業を行ったとの報告があった。

2. 沖縄県がん関連事業の2018年度の決算及び2019年度当初予算について

沖縄県保健医療部健康長寿課系数氏(砂川9号委員代理)から資料13に基づき、沖縄県がん関連事業の2018年度の決算及び2019年度当初予算について報告があった。

3. 「第7次沖縄県医療計画に係る医療機関の掲載要件案」の進捗について

沖縄県保健医療部健康長寿課系数氏(砂川9号委員代理)から、「第7次沖縄県医療計画に係る医療機関の掲載要件案」の進捗について報告があった。

4～7. 第11回都道府県がん診療連携拠点病院連絡会議及び各部会報告について

増田委員から資料14から17に基づき第11回都道府県がん診療連携拠点病院連絡会議及び各部会報告について報告があった。

8. 沖縄県がん地域連携クリティカルパス適用状況について

増田委員から、資料18に基づき、沖縄県がん地域連携クリティカルパス適用状況について報告があった。

9. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告について

増田委員から、資料19に基づき、沖縄県がん患者等支援事業の活動報告があった。

10. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

増田委員から資料20に基づき、沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告があった。

11. 文部科学省におけるがん関連審議会及び各種会議

増田委員から資料21に基づき、文部科学省におけるがん関連審議会及び各種会議について報告があった。

12. 厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議

増田委員から資料22～資料30に基づき厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議について報告があった。

部会報告事項

1. 医療部会（報告なし）

2. 緩和ケア・在宅医療部会

笹良部会長から資料31に基づき、緩和ケア・在宅医療部会の活動・取り組み状況について報告があった。天野委員から、現在、アドバンスケアプランニングは統一した要件等は定まっていないが、どのように進めるか等予定はあるかとの質問があり、笹良部会長から今年度作成予定の教育プログラムを用いて、多職種との協体制づくりを進めることを検討しているとの回答があった。

3. 小児・AYA部会

百名委員から資料32に基づき、小児・AYA部会の活動・取り組み状況について報告があった。百名委員の報告で、AYA世代が小児プロトコルを用いることで状況の改善がみられるとの発言を受け、天野委員からその推進と、事例の少ない脳腫瘍については県内でできるだけ集約して対応した方が望ましいとの発言があった。

また、増田委員から紹介を受け、令和元年8月1日（本協議会の前日）に開催された本部会に参加された多和田氏から、沖縄県のAYA世代は諸事情により治療が途切れたり、治療の経緯がみえなくなってしまうことがあることから、その対策も必要だと発言があった。

4. 離島・へき地部会

松村委員から資料33に基づき、離島・へき地部会の活動・取り組み状況について報告があった。

5. 情報提供・相談支援部会

仲宗根副部会長から資料34に基づき、情報提供・相談支援部会の活動・取り組み状況について報告があった。

6. ベンチマーク部会（報告なし）

7. その他

・報告事項3の第7次沖縄県医療計画に係る医療機関の掲載要件案について、天野委員からどのような箇所が懸案となっているかとの質問があり、沖縄県保健医療部健康長寿課糸数氏（砂川9号委員代理）から医療機関に課せられる要件の全てを満たすことが困難である場合、一部特例を認めるべきか等について議論を重ねているとの回答があった。また、血液については有識者会議においても基準の策定自身が困難な状況であったとの発言があった。

・増田委員から、当日配布資料の九州沖縄小児がん医療提供体制協議会市民公開講座について案内があった。